更新：20230902

藤本由紀夫　CV

1950 年 名古屋市生まれ
大阪市在住

個展

2022	「時間について」ギャラリーキャプション（岐阜） 「READ」SAI Gallery（大阪） 「WATER here and there」アートビオトープ那須（栃木）
2021	「Chamber Music Kyoto」ACG Villa Kyoto（京都）
2020	「Yukio Fujimoto Sound Album」シュウゴアーツ オンラインショー
2019	「星の読書・夏」芦屋市立美術博物館（兵庫）
2018	「photo / graph」サイギャラリー（大阪） 「ダッシュ」ギャラリー島田（兵庫）
2017	「STARS」シュウゴアーツ（東京） 「キュレトリアル・スタディズ 12： 泉／Fountain　1917－2017, Case 2: He CHOSE it.」京都国立近代美術館（京都）
2016	「Broom (Coal)/ Tokyo」シュウゴアーツ ウィークエンドギャラリー(東京)
2015	「THE BOX OF MEMORY」京都アートホステル クマグスク（京都）
	「Sound and Vision-David Cunningham and Yukio Fujimoto」Laure Genillard(ロンドン)
2014	「retard」シュウゴアーツ（東京）
	「music/box」E&C ギャラリー（福井）
2013	「REVOLUTION & GRAVITY」ギャラリーキャプション（岐阜）
2011	「philosophical toys」ギャラリーキャプション（岐阜）
	「n/t -phonography/ photography-」シュウゴアーツ（東京）
2010	「notes 1979-2009」サイギャラリー（大阪）
2009	「遠/近」シュウゴアーツ（東京）
	「The Tower of Time」アイコンギャラリー（バーミンガム）
	「audio/visual V」ギャラリーキャプション（岐阜）
	「藤本由紀夫展」西脇市岡之山美術館（兵庫）
2007	「see/here -見ることと聞くこと」高砂屋（鳥取）
	「ECHO -潜在的音響」広島市現代美術館（広島）
	「+/-」国立国際美術館（大阪）
	「philosophical toys」西宮市大谷記念美術館（兵庫）
	「関係」和歌山県立近代美術館（和歌山）
	「静/聴」シュウゴアーツ（東京）
2006	「アート@アグネス」アグネスホテル（東京）
	「美術館の遠足 10/10」西宮市大谷記念美術館（兵庫）
	「ここ、そして、そこ」名古屋市美術館（名古屋）
	「audio/visual IV」ギャラリーキャプション（岐阜）
2005	「美術館の遠足 9/10」西宮市大谷記念美術館（兵庫）

	「audio/visual III」ギャラリーキャプション（岐阜）
2004	「哲学的玩具 II」シュウゴアーツ（東京）
	「美術館の遠足 8/10」西宮市大谷記念美術館（兵庫）
	「工芸館、藤本由紀夫、大原美術館」大原美術館工芸館(岡山)
2003	「美術館の遠足 7/10」西宮市大谷記念美術館（兵庫）
	「AUDIO/VISUAL II」ギャラリーキャプション（岐阜）
2002	「in/out」京都芸術センター（京都）
	「美術館の遠足 6/10」西宮市大谷記念美術館（兵庫）
2001	「PHILOSOPHICAL TOYS」サイギャラリー（大阪）
	「四次元の読書」CCGA 現代グラフィックアートセンター（福島）
	「美術館の遠足 5/10」西宮市大谷記念美術館（兵庫）
2000	「美術館の遠足 4/10」西宮市大谷記念美術館（兵庫）
	「AUDIO/VISUAL」ギャラリーキャプション（岐阜）
1999	「美術館の遠足 3/10」西宮市大谷記念美術館（兵庫）
1998	「A RED MOON」サイギャラリー（大阪）
	「美術館の遠足 2/10」西宮市大谷記念美術館（兵庫）
1996	「オブライエンの部屋」サイギャラリー（大阪）
1994	「藤本由紀夫 サウンドオブジェ展」児玉画廊（大阪）
	「藤本由紀夫 版画展」サイギャラリー（大阪）
1992	「FATE & CHANCE」ヒルサイド・ギャラリー（東京）
1991	「藤本由紀夫 サウンド・オブジェ展」INAX スペース（広島）
	「4D」インターフォームアトリエ/ フォトインターフォーム（大阪）
1990	「屋上の耳」児玉画廊（大阪）
	「Yukio Fujimoto in Gulliver's Travels」ギャラリービュウ（大阪）
	「藤本由紀夫 サウンド・オブジェ展」HALS ギャラリー（東京）
	「星」ジーベック（神戸）
1989	「藤本由紀夫 サウンド・オブジェ展」児玉画廊（大阪）
	「藤本由紀夫 サウンド・オブジェ展」西脇市岡之山美術館 （兵庫）
	「Self-Portrait」リトルギャラリー（大阪）
1988	「NOWHERE Dedicated to Lewis Carol」ノースフォート（大阪）
	「Voice of Gallery」ヴォイスギャラリー（京都）
1987	「ミラノ近郊の別荘の不思議な中庭」ノースフォート（大阪）
	「F's Collection」ノースフォート（大阪）
	「Magical Simulation」アートスペース（兵庫）
1986	「箱庭の音楽」ノースフォート（大阪）

グループ展

2022	「ストリーミング・ヘリテージ 2022」伊藤家住宅（名古屋）
2020	「西宮市大谷記念美術館の＜展覧会とコレクション＞2」西宮市大谷記念美術館（兵庫） 「2018 年度受贈 新収蔵品展」西宮市大谷記念美術館（兵庫） 「シュウゴアーツショー」シュウゴアーツ（東京）
2019	「六甲ミーツ・アート 芸術散歩 2019」六甲高山植物園ほか（兵庫） 「Voice and Sound Waves: The Japanese Scene」Felix Frachon Gallery（ベルギー） 「林勇気 × 藤本由紀夫「Yuzu muge」」ギャラリーほそかわ（大阪）

	「目の目 手の目 心の目 part2」岡山県立美術館（岡山） 「30th - Miracle vol.2 / On the Wall」ギャラリーノマル（大阪）
2018	「起点としての 80 年代」金沢 21 世紀美術館（石川） 「AllStars」ギャラリーノマル（大阪） 「シュウゴアーツショー」シュウゴアーツ（東京）
2017	「20th DOMANI・明日展 PLUS×日比谷図書文化館」日比谷図書文化館（東京） 「ニュイ・ブランシュ KYOTO 見立てと想像力－千利休とマルセ ル・デュシャンへのオマージュ」元淳風小学校（京都） 「港都ＫＯＢＥ芸術祭 - rendez – vous」神戸ポートターミナルホール（兵庫） 「非在の庭 総集編」アートスペース虹（京都） 「シュウゴアーツショー」シュウゴアーツ（東京）
2016	「オープン・スペース 2016 メディア・コンシャス」 NTT インターコミュニケーション・センター（東京）
2015	「Sound and Vision -David Cunningham and Yukio Fujimoto-」Laure Genillard（ロンドン） 「シュウゴアーツ：毎週末の画廊、三宿ＳＵＮＤＡＹの隣」シュウゴアーツ ウィークエンドギャラリー（東京）
2014	「音のステーション」アートエリア B1（大阪）
	「絵画の輪郭」シュウゴアーツ（東京） 「phono/graph - sound, letters, graphics」ギンザ・グラフィック・ギャラリー（東京）
2013	「堂島リバービエンナーレ 2013- Little Water」堂島リバーフォーラム（大阪）
	「Re:Quest—1970 年代以降の日本現代美術」ソウル大学校美術館（ソウル）
	「周縁からのフィールドワーク」ギャルリ・オーブ（京都）
2012	「phono/graph」 Dortmund U（ドルトムント、ドイツ）
	「記録する視線」シュウゴアーツ（東京）
	「NOTATIONS -THE CAGE EFFECT TODAY-」HUNTER COLLEGE / TIMES SQUARE GALLERY（ニューヨーク）
2011	「BOX」ギャラリーノマル（大阪） 「オムニログ：オルタネィティング カレント： 3.11 以降の日本現代美術」Perth Institute of Contemporary Arts（PICA）（パース）
	「耳をすまして-美術と音楽の交差点」茨城県近代美術館（茨城）
	「phono/graph -音・文字・グラフィック-」ddd ギャラリー（大阪）
	「Art in an Office -印象派・近代日本画から現代絵画まで」豊田市美術館（愛知）
	「ほんをさがして」ギャラリーほそかわ（大阪）
2010	「The Record: Contemporary Art and Vinyl」Nasher Museum of Art at Duke University（ダーハム、ノースカロライナ州、アメリカ）
	「Negotiation- Today’s Documents 2010」Today Art Museum（北京）
	「Living with art -Contemporary Art from Japan and Taiwan」Yi&C.Contemporary Art space（台北）
	「六甲ミーツ・アート 芸術散歩 2010」オルゴールミュージアム ホール・オブ・ホールズ六甲（神戸）
2009	「2009 年コレクション展 II 美術の中のかたち -手で見る造形- SHADOW -exhibition obscura-」兵庫県立美術館（兵庫）
	「神戸ビエンナーレ 2009 招待作家展 LiNK-しなやかな逸脱 」兵庫県立美術館（兵庫）
2008	「開館 20 周年記念 コレクション＋（プラス）ひびきあう音・色・形」高松市美術館（香川）
	「小杉武久＋藤本由紀夫展 音楽」国際芸術センター青森（青森）

	「時間の形」丸亀市猪熊弦一郎現代美術館（香川）
	「ライト・[イン]サイト 拡張する光、変容する知覚」NTT インターコミュニケーションセンター[ICC]ギャラリーA ほか（東京）
2007	「第 52 回 ヴェニス・ビエンナーレ」アルセナーレ（ヴェニス）
2006	「A ランチ」AXIS GALLERY ANNEX（東京）
	「再生-孕む彫刻〜ギャラリーコレクションとともに」ギャラリーほそかわ（大阪）
	「取手アートプロジェクト 2006」（取手）
2005	「サマーショウ」シュウゴアーツ（東京）
	「西から東から」シュウゴアーツ（東京）
2004	「心の在り処 -日本の現代美術-」モスクワ現代美術館（モスクワ）
	「ファン・デ・ナゴヤ美術展 2004 サウンド・マイン・ナゴヤ」名古屋市民ギャラリー矢田（愛知）
	「第 1 回 北京芸術区国際アートフェスティバル」大山子芸術区（北京）
	「「これはデュシャンではない」、ですか。藤本由紀夫、森村泰昌二人展」MEM（大阪）
	「マルセル・デュシャンと 20 世紀美術」国立国際美術館（大阪）
2003	「心の在り処 -日本の現代美術-」ルードヴィヒ美術館（ブダペスト）
2002	「ceramica 遠藤利克＆藤本由紀夫」ニューリンアートギャラリー（ペンザンス）
	「本と美術」徳島県立近代美術館（徳島）
	「カフェ・イン水戸」水戸芸術館（水戸）
	「杉山知子・塚脇淳・藤本由紀夫 ドローイング展」CAP HOUSE（神戸）
	「アート音楽館」釧路市立美術館（釧路）
2001	「第 49 回ヴェニス・ビエンナーレ」日本館（ヴェニス）
	「among others 4」クンストラーハウス（ドルトムント）
	「Facts of Life : Contemporary Japanese Art」ヘイワード・ギャラリー（ロンドン）
	「空間のコンポジション」アサヒビール大山崎山荘美術館（兵庫）
2000	「イチハラヒロコ・藤本由紀夫」サイギャラリー（大阪）
	「子どものための美術展 2000 アートで学ぼうアートを遊ぼう」広島市現代美術館（広島）
	「その日に 5 年後、77 年後 震災・記憶・芸術」川崎市岡本太郎美術館（神奈川）
	「Towards Utopia」海岸通ギャラリーCASO（大阪）
	「ガーデン」後楽園(岡山)
1999	「恋スル身体 A SENSE of REALITY」宇都宮美術館（栃木）
	「五感の芸術」クンストハウス（ハンブルグ）
	「岡田一郎+藤本由紀夫」アートスペース虹（京都）
1998	「アート遊園地」伊丹市立美術館（兵庫）
1997	「アートラビリンス II 時の記憶」岡山県立美術館（岡山）
	「ものとあらわれ 新しい関西の美術家たち」和歌山県立近代美術館（和歌山）
	「4 th 北九州ビエンナーレ 感覚の庭」北九州市立美術館（福岡）
1996	「ひかる・うごく・おとがする 20 世紀美術の静かならざる作品たち」和歌山県立近代美術館（和歌山）
	「光の記憶’96 藤本由紀夫 ＋ 笹岡敬展」キュービックギャラリー（大阪）
	「植物採集展 光合成の原理」児玉画廊（大阪）
	「写楽再見」国際交流基金フォーラム（東京）
	「3D-LAB. Part3 知覚の快楽」東京都写真美術館（東京）
1995	「柔らかく重く」埼玉県立近代美術館（埼玉）/ ライフ・ギャラリー（オハイオ）
1994	「感覚による思索」京都市美術館（京都）

	「3D STUDIO ステレオ・プレイ！展」サムミュージアム（大阪）
	「アート・ラビリンス 90 年代美術への視座」,岡山県立美術館（岡山）
	「21 世紀・的・空間」セゾン美術館（東京）
	「時間/美術」滋賀県立近代美術館（滋賀）
	「アートは楽しい 5 身体美術感」ハラミュージアムアーク（群馬）
	「親と子で見る 楽しい現代美術」芦屋市立美術博物館（兵庫）
	「現代日本デザイン展」ソウル国立現代美術館（ソウル）
	「心で見る美術展」名古屋市美術館（愛知）
	「眼の宇宙 かたちをめぐる冒険」兵庫県立近代美術館（兵庫）
	「庭の住人 コンプレッソ・プラスティコ・藤本由紀夫」ふくやま美術館（広島）
1993	「Gemini 二つの眼と一つの脳による読書術」インターフォーム（大阪）
	「GIAPPONE-ANNI NOVANTA」ローマ市立フォルクローレ美術館（ローマ）
	「3D LOVE 立体視への招待」東京都写真美術館（東京）
	「キッズアートランド」直島コンテンポラリーアートミュージアム（香川）
	「JAPANISCHE KUNSTLER」デュッセルドルフ市美術館（デュッセルドルフ）
	「MUSIC -every sound includes music」 ジーベック（神戸）
1992	「UNDR」シャロッテンボー（コペンハーゲン）
	「ミュージアム・シティ天神 ’92」福岡市天神地区（福岡）
	「アート・ナウ’92 12 人の実践 90 年代美術の新地平」兵庫県立近代美術館（兵庫）
1991	「箱の世界 do it yourself」水戸芸術館現代ギャラリー（茨城）
	「芸術祭典・京・造形部門 新古典空間学」岩城邸（京都）
	「藤本由紀夫+笹岡敬展」現代中国藝術センター(大阪)
	「現代美術’91 素材はいろいろ」徳島県立近代美術館（徳島）
	「ANIMATED IMAGINATION 視覚への欲求」東京都写真美術館（東京）
	「静かな部屋」ジーベック（神戸）
1990	「サウンドガーデン 3」ストライプハウス美術館/ハイネケンビレッジ（東京）
	「流動する美術 II メディアの複合 音と造型」福岡市美術館（福岡）
1989	「音のある美術」栃木県立美術館（栃木）
1987	「部分」ギャラリー射手座（京都）

パブリックコレクション

高松市美術館
兵庫県立美術館
広島市現代美術館
西宮市大谷記念美術館
大阪府立現代美術センター
岩倉市
ファーレ立川
東京都現代美術館
彫刻の森美術館
名古屋市美術館
原美術館
CCGA 現代グラフィックアートセンター

国際交流基金
南芦屋浜団地
大分県立美術館
国立国際美術館
豊後高田市